

2. 現在までの研究状況 (図表を含めてもよいので、わかりやすく記述すること。様式の改変・追加は不可(以下同様))

研究開始時における研究の背景、問題点、解決方策、研究目的、研究方法、特色と独創的な点について当該分野の重要文献を挙げつつ記述すること。

申請者のこれまでの研究経過及び得られた結果について整理し、で記載したことと関連づけて説明すること。4.研究業績欄に記載した論文、学会発表等を引用する場合には、4.研究業績欄の番号を記載するとともに、申請者が担当した部分を明らかにしつつ記述すること。

申請者氏名 _____

(現在までの研究状況の続き)

申請者氏名

3. これからの研究計画

(1) 研究の背景

2.で述べた研究状況を踏まえつつ、これからの研究計画の背景、問題点、解決すべき点、着想に至った経緯等について参考文献を挙げつつ記入すること。

(2) 研究目的・内容（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述すること）

研究目的、研究方法、研究内容について記述すること。

どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入すること。

なお共同研究の場合には、申請者が担当する部分を明らかにすること。

研究計画の期間中に異なった研究機関（外国の研究機関等を含む）において研究に従事することを予定している場合はその旨を記載すること。

申請者氏名

(研究目的・内容の続き)

申請者氏名

(研究目的・内容の続き)

(3) 研究の特色・独創的な点

次の項目について記載すること。

これまでの先行研究等があれば、それらと比較して、本研究の特色、着眼点、独創的な点

国内外の関連する研究の中での当該研究の位置づけ、意義

本研究が完成したとき予想されるインパクト及び将来の見通し

申請者氏名

(4) 年次計画

(1 年目)

(2 年目)

(3 年目)

申請者氏名

4. 研究業績（下記の項目について申請者が中心的な役割を果たしたもののみに項目に区分して記載すること。該当がない項目は「なし」と記載すること。申請者にアンダーラインを付すこと）

(1) 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文又は著書（査読の有無を区分して記載すること。査読がある場合、印刷済及び採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除く）

著者（申請者を含む全員の氏名を、論文と同一の順番とする） 題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp 開始頁 - 最終頁、発行年をこの順で記入すること。なお、著者の所属・職については脚注に記載すること。

採録決定済のものについては、それを証明できるものを P. 10 の後に添付すること。

(2) 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説

(3) 国際会議における発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載すること）

著者（申請者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載すること） 題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載すること。発表者に 印を付すこと。

(4) 国内学会・シンポジウム等における発表

(3)と同様に記載すること。

(5) 特許等（申請中、公開中、取得を明記すること。ただし、申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみの記述でよい。）

申請者氏名

(研究業績の続き)

申請者氏名 _____

平成19年度日本学術振興会特別研究員申請者に関する評価書 (PD)

本書式を http://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_boshu_f.htm からダウンロードし、次頁に記載した特別研究員の制度並びに評価書作成上の注意点をよく読んで記入してください。

評価者の所属機関： _____ 大 学 _____ 学部・研究科・研究所

_____ 研究所

職： _____ 氏名： _____ 印

申請者 氏 名	申請者との関係
研究課題（申請書の「研究課題」を記入）	
<p>申請者の研究姿勢・忍耐力、研究の進捗状況、専門的知識・技量、着想力・創造力、コミュニケーション能力、リーダーシップ、将来性などについて記入してください。また、研究の独創性又は特色も明記してください（その研究が共同研究である場合は、特に申請者の当該共同研究において果たした役割及びその寄与の程度が分かるように記入してください）。</p>	

(評価書作成上の注意点)

- * 本評価書作成の際は、日本語又は英語で記入してください。なお、手書きする場合は、黒インク又は黒ボールペンで丁寧に記入してください。
- * 評価書2通の作成者は、申請者の研究を良く理解している研究者とし、うち1通については現在の受入研究者又は採用後の受入研究者とします。「申請者との関係」欄に、申請者との関係を具体的かつ詳細に記入してください。
- * 本評価書は、審査の重要な資料となるので、当該申請者についてできるだけ具体的かつ明確に記入してください。
- * 本評価書は、本書以外に新たに用紙を加えることはできません。
- * 写しは6部(A4版、両面コピー)とり、本書及び写しを併せて封筒(角2)に入れ厳封の上、申請者が作成する申請書に添付してください(封筒の表に申請者名と評価者名を記載してください)。

特別研究員制度について

日本学術振興会特別研究員制度は、優れた若手研究者に、その研究生活の初期において、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与えることにより、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的として、大学院博士課程在学者及び大学院博士課程修了者等で、優れた研究能力を有し、大学その他の研究機関で研究に専念することを希望する者を採用し、研究奨励金を支給するものです。

参考：過去の採用状況(平成13～17年度)

年度	S P D ・ P D			D C			計		
	申請数	採用数	採用率	申請数	採用数	採用率	申請数	採用数	採用率
17	4,689	480	10.2%	7,428	1,416	19.1%	12,117	1,896	15.6%
16	4,718	535	11.3%	7,429	1,048	14.1%	12,147	1,583	13.0%
15	4,836	716	14.8%	7,124	905	12.7%	11,960	1,621	13.6%
14	5,062	598	11.8%	7,050	763	10.8%	12,112	1,361	11.2%
13	4,632	576	12.4%	6,934	829	12.0%	11,566	1,405	12.1%

詳細は http://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_saiyo.htm をご覧ください。

平成19年度日本学術振興会特別研究員申請者に関する評価書 (PD)

本書式を http://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_boshu_f.htm からダウンロードし、次頁に記載した特別研究員の制度並びに評価書作成上の注意点をよく読んで記入してください。

評価者の所属機関： _____ 大 学 _____ 学部・研究科・研究所
_____ 研究所

職： _____ 氏名： _____ 印

申請者 氏 名	申請者との関係
研究課題（申請書の「研究課題」を記入）	
<p>申請者の研究姿勢・忍耐力、研究の進捗状況、専門的知識・技量、着想力・創造力、コミュニケーション能力、リーダーシップ、将来性などについて記入してください。また、研究の独創性又は特色も明記してください（その研究が共同研究である場合は、特に申請者の当該共同研究において果たした役割及びその寄与の程度が分かるように記入してください）。</p>	

(評価書作成上の注意点)

- * 本評価書作成の際は、日本語又は英語で記入してください。なお、手書きする場合は、黒インク又は黒ボールペンで丁寧に記入してください。
- * 評価書2通の作成者は、申請者の研究を良く理解している研究者とし、うち1通については現在の受入研究者又は採用後の受入研究者とします。「申請者との関係」欄に、申請者との関係を具体的かつ詳細に記入してください。
- * 本評価書は、審査の重要な資料となるので、当該申請者についてできるだけ具体的かつ明確に記入してください。
- * 本評価書は、本書以外に新たに用紙を加えることはできません。
- * 写しは6部(A4版、両面コピー)とり、本書及び写しを併せて封筒(角2)に入れ厳封の上、申請者が作成する申請書に添付してください(封筒の表に申請者名と評価者名を記載してください)。

特別研究員制度について

日本学術振興会特別研究員制度は、優れた若手研究者に、その研究生生活の初期において、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与えることにより、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的として、大学院博士課程在学者及び大学院博士課程修了者等で、優れた研究能力を有し、大学その他の研究機関で研究に専念することを希望する者を採用し、研究奨励金を支給するものです。

参考：過去の採用状況(平成13～17年度)

年度	SPD・PD			DC			計		
	申請数	採用数	採用率	申請数	採用数	採用率	申請数	採用数	採用率
17	4,689	480	10.2%	7,428	1,416	19.1%	12,117	1,896	15.6%
16	4,718	535	11.3%	7,429	1,048	14.1%	12,147	1,583	13.0%
15	4,836	716	14.8%	7,124	905	12.7%	11,960	1,621	13.6%
14	5,062	598	11.8%	7,050	763	10.8%	12,112	1,361	11.2%
13	4,632	576	12.4%	6,934	829	12.0%	11,566	1,405	12.1%

詳細は http://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_saiyo.htm をご覧ください。

大学院在学当時の所属研究室（出身研究室）選定理由書

PD 申請者で、大学院在学当時の所属研究室（出身研究室）を、やむを得ず選定する者のみ作成すること（P. 10 の後に添付すること）。
1,600 字程度で要約すること。

右下を黒で塗りつぶすこと。

本理由書に係る申請資格審査の実施状況について、本会のホームページを参照のこと。

http://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_sinsa.htm